

# 一般社団法人米沢観光コンベンション協会 コンベンション開催助成金交付要綱

## (目的)

第1条 この要綱は、一般社団法人米沢観光コンベンション協会（以下、「協会」という。）が実施するコンベンション開催助成金の交付事務の取り扱いに際し、必要な事項を定めるものとする。

## (交付対象)

第2条 助成金の交付対象は、協会開催支援要綱に定める支援対象であり、さらに次の各号に掲げる要件のすべてを満たすコンベンションとする。

(1) 米沢市、南陽市、高畠町又は川西町で開催される、東北規模以上（国際規模又は全国規模）の学術、文化等の会議及び大会（音楽祭、芸術祭等のイベントやコンサート、演劇等の興行、スポーツ大会その他これらに類するものを除く。）で、宿泊を伴うものであること。ただし、東北規模については、東北各県で輪番制により開催されるものを除く。

(2) 米沢市、南陽市、高畠町又は川西町の宿泊施設に宿泊する参加者の数が東北規模及び全国規模の場合は50人以上、国際規模の場合は10人以上のものであること。ただし、オンライン参加を組み合わせたハイブリッド開催の場合は、東北規模及び全国規模の場合であっても30人以上とする。この場合、オンライン参加者に対して山形県観光等のPRを行うものとする。また、国際規模とは日本国外から参加者を募り、日本を含む2か国以上から宿泊する参加者がいるものとする。

(3) 営利を目的としないもの、公序良俗に反しないもの及び社会に悪影響を及ぼす恐れのないものであること。

(4) 営利活動、宗教活動又は政治活動を目的とするものでないこと。

(5) 地方公共団体から本助成金以外の開催支援補助金等の交付を受けていないもの。ただし、当該地方公共団体において特に認めるものについては、この限りでない。

2 前項の規定に関わらず、理事長が特に必要と認めたもの。

## (助成金の額)

第3条 助成金の額は、次の各号により算出して得た額の合計額とする。

(1) 米沢市、南陽市、高畠町又は川西町の宿泊施設に宿泊した参加者のうち、米沢市の宿泊施設に宿泊した参加者一人につき、別表に掲げる区分に応じ当該参加者の数を乗じて得た額の合計額とする。

(2) 感染症予防対策に係る経費（衛生設備のリース料、衛生用品の購入費等）及びハイブリッド開催に係る経費（オンライン配信に係る機材リース料、回線使用料、システム構築費、人件費等）の合計額とする。ただし、対象コンベンションごとに1,000,000円を限度額とする。なお、当該対象経費に対して前号の規定により算出した助成金を充てることはできないものとし、また、当該対象経費に他団体から補助がある場合は、その金額を対象経費から除く。

2 助成金の額は、協会の予算の範囲内とする。

(交付申請)

第4条 この助成金の交付を受けようとする主催者は、対象コンベンションの開催日の45日前の日までに協会に対しコンベンション開催助成金交付申請書(様式第1号)を提出するものとする。添付書類は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 開催するコンベンションの開催概要が分かる資料
- (2) 開催するコンベンションの主催者の概要が分かる資料
- (3) 開催コンベンション収支予算書(様式第2号)
- (4) 宿泊参加予定確認書(様式第3号)
- (5) その他協会が必要とする書類

2 主催者は、前項の助成金の交付の申請にあたって、当該助成金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入れ控除税額(助成対象経費に含まれる消費税及び地方消費税相当額のうち、消費税法(昭和63年法律第108号)の規定により仕入れに係る消費税額として控除できる部分の金額及び当該金額に地方税法(昭和25年法律第266号)の規定による地方消費税の税率を乗じて得た金額の合計額に補助率を乗じて得た金額をいう。以下同じ。)を減額して交付申請しなければならない。ただし、申請時において当該消費税及び地方消費税に係る仕入れ控除税額が明らかでないものについては、この限りではない。

(変更申請)

第5条 主催者が申請書の内容を変更しようとする場合は、協会に対し変更申請書(様式第4号)を提出しなければならない。ただし、軽微な変更についてはこの限りではない。なお、軽微な変更とは、内容の変更に伴う助成金の額の増減が交付決定額の2割を超えないものとする。

(決定通知)

第6条 協会は、提出された申請書等を審査し、交付を適当と認める場合はその決定の内容を主催者に通知するものとする。(様式第5号)

(実績報告)

第7条 主催者は、事業完了後10日を経過する日又は当年度3月5日のいずれか早い日までに次の各号に定める書類を協会に提出しなければならない。

- (1) コンベンション開催助成金実績報告書(様式第6号)
- (2) 開催コンベンション収支決算書(様式第7号)
- (3) 宿泊参加者実績確認書(様式第8号)
- (4) 宿泊証明書(様式第9号)または宿泊参加者名簿(様式第10号)
- (5) その他協会が必要とする書類

2 主催者は、実績報告書の提出にあたり、第4条第2項ただし書の、補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入れ控除税額が明らかになった場合には、当該消費税及び地方消費税に係る仕入れ控除税額を減額して報告しなければならない。

(交付)

第8条 協会は、主催者の提出する実績報告に基づき、山形県及び米沢市に開催支援補助金の交付を申請し、当該補助金を受領後、主催者へ交付額の確定を通知し（様式第11号）、助成金を交付する。

(交付取消等)

第9条 協会は交付の確定後に、次の各号に該当する事項が生じた場合は、主催者に対し助成金交付決定を取消すとともに、既に助成金を交付した場合は返還を求めることができる。（様式第12号）

- (1) 助成金の交付申請の取消の申し出があった場合。
- (2) 本要綱の規定に違反した場合。

(消費税及び地方消費税に係る仕入れ控除税額の確定に伴う助成金の返還)

第10条 主催者は、実績報告書を提出した後において、消費税及び地方消費税の申告により当該助成金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入れ控除税額が確定した場合には、返還の有無にかかわらず、その金額（実績報告の規定により減額した補助事業者については、その金額が減じた額を上回る部分の金額）を様式第13号により速やかに協会に報告しなければならない。

2 協会は、前項の報告があった場合には、必要に応じ当該消費税及び地方消費税に係る仕入れ控除税額の全部又は一部の返還を命ずるものとする。

(関係書類の備え付け)

第11条 主催者は、事業完了日に属する年度の翌年度の初日から5年間、当該事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、かつ当該収入および支出についての証拠書類を整理保管しなければならない。

附 則

この要綱は、平成28年6月27日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

別 表（第3条第1項第1号関係）

		日本国内に在住のもの一人につき	日本国外に在住のもの一人につき
<b>【開催規模が東北規模（輪番制を除く）及び全国規模の場合】</b>			
宿泊市	宿泊人数（※1）	交付額（円）	交付額（円）
米沢市	米沢市、南陽市、高島町又は川西町への合計宿泊人数が50人以上 （ハイブリッド開催の場合は30人以上）	3,000	10,000
※さらに宿泊人数が下記に該当する場合、一人あたりの交付額に下記の額を加算する。 なお、交付及び加算は米沢市へ宿泊した人数分のみとする。			
宿泊市	宿泊人数（※1）	加算額（円）	加算額（円）
米沢市	米沢市、南陽市、高島町又は川西町への合計宿泊人数が200人以上（※全国規模のみ）	500	2,500

		日本国内に在住のもの一人につき	日本国外に在住のもの一人につき
<b>【開催規模が国際規模の場合】</b>			
宿泊市	宿泊人数（※1）	交付額（円）	交付額（円）
米沢市	日本を含む2か国以上からの宿泊する参加者があり、米沢市、南陽市、高島町又は川西町への合計宿泊人数が10人以上	3,000	10,000
※さらに宿泊人数が下記に該当する場合、一人あたりの交付額に下記の額を加算する。 なお、交付及び加算は米沢市へ宿泊した人数分のみとする。			
宿泊市	宿泊人数（※1）	加算額（円）	加算額（円）
米沢市	日本を含む3か国以上からの宿泊する参加者があり、米沢市、南陽市、高島町又は川西町への合計宿泊人数が50人以上	500	2,500

（※1）宿泊人数は、実人数とする。